

白根北中学校
学校だより

教育目標
自立 友愛 勇気



まずは、「自分」から

「中学生が道いっぱい広がって通りづらいです」「急に自転車飛び出してきたので危険でした」「フードコートで騒いでいるので迷惑です」こんな苦情が何度も聞かれた3か月でした。

いきなりこんな始まりですみません。新年度が始まって約3か月。暦は既に7月に入り、夏休みが近くなってきました。学校でもその都度、事実を伝え、注意を促し、そして時には心当たりの人がいないか呼びかけてきました。もちろん、改善はされているのだと思いますが、なかなか変わらないのが現状です。

◆相手の気持ちに思いを馳せる◆

「いちいちうるさいなあ」とか、

「別にいいじゃん」と考えるのは、これから社会に足を踏み出そうとする中学生としては不十分。連絡をしてきた方も、よほどの思いの中で電話してきているはずです。ここで大切なのは「それは何のためか」ということです。決して、苦情だけが目的ではないでしょう。

例えば、急な飛び出しは、怪我や命の危険があります。自動車が接触してしまえば、相手への補償の他、運転免許が停止になってご自身の仕事やご家族の生活に影響が出てしまうかも知れません。

また、フードコートは、みんながルールとマナーを守り気持ちよく

使う場所です。相手の立場に思いを巡らせる配慮が欠かせません。

ここで1つ、ある詩を紹介합니다。

「忘れられないできごと」

みのり園までの5キロの道

リヤカーに積んだ

大根100本と、キャベツ70個

カミナリの光

雨、あられも降ってきた



体がぬれて、あられも痛い
みのり園の人が待っている

施設の人が 苦しそうに言われた

「み・な・さ・ん・

あ・り・が・と・う」

来て本当に良かった

昭和62年12月『笠木だより』より

これは今から約40年前の昭和62年に、西区にある笠木小学校の子どもたちが悪天候の中で

ずぶ濡れになりながらも

交流先の福祉施設の

皆さんに学校で育てた

作物を届けた時の思いを

表現した、6年生の詩です。

相手のことを思い、雨の中でも

頑張ってリヤカーを引いた子ども

たちの姿。その気持ちに応えようと

精一杯の思いを込めたお礼の一言。

私がいつか、お便りで紹介したいと思

思っていたものです。

とかく人は注意されると、ムキに

なつて素直になれないことがあります。

しかしまずは、自分の方から

思いやりの気持ちを持ち、行動する。

そうすれば、自然と相手の方もその

思いに伝えてくれることが分かる

温かい詩です。

*詩の引用は笠木小学校の校長先生も

ご了解です。



◆ 体育祭連合抽選会 ◆

6月30日（火）の生徒朝会は、体育祭の連合決めの抽選会でした。生徒会の皆さんの進行で決め方はあみだくじや二人三脚など、工夫を凝らした盛り上がる時間になりました。抽選の結果は左の通りです。



	1組 (A)	2組 (B)	3組 (C)	4組 (D)
1年生	黄	青	赤	紫
2年生	黄	青	赤	紫
3年生	紫	青	黄	赤



二人三脚に出場した3年生の皆さん（左）と、あみだくじの様子（右）

◆ 『北の塔』 企業説明会 ◆

7月2日（木）の6限に今年度の『北の塔』の企業説明会が行われました。社員の皆さんからは、各課の取組の様子について画像を交えて説明がありました。

今回は初めての試みとして、オンラインで説明会を行い、保護者の皆さまに学校にお越しいただかなくとも視聴できるよう工夫しました。秋の『しろきた市場』に向けて、これから活動が続きます。3年生の皆さん、よろしくお願ひします。



R8 北の塔イメージキャラクター

白北メー太

白根の魅力に誘われてやって来て気がついたら住みついていた、2歳の男の子の羊です。

◆ 通信陸上大会の結果 ◆

(男子)
走り高跳び ● ● 5位
四種競技 ● ● 5位
4×100mリレー ● ● 4位

(女子)
100m ● ● 3位
200m ● ● 4位
4×100mリレー ● ● 10位

* ●●さんは、100mで北信越大会出場が決まりました。

夏休みまでの登校日は残り10日となりました。明日から暑さが予想されています。体調管理に気をつけています。体調管理に気をつけて。



令和8年7月7日（火）

令和8年度 第8号

文責 校長 山口 靖博